

平成 29 年度 国立教育政策研究所 教育課程研究指定校事業研究協議会
中学校 伝統文化
2018 年 2 月 7 日（水）

国立教育政策研究所から当日の協議会でのアンケートをいただきました。その中から、金沢大学附属中学校に関係すると思われるものを抜粋してみました。なお、原文のままの記載です。

1. 分科会についての感想をお聞かせください。

金沢中の発表は、ちがう切りくちで、伝統文化にせまっております、参考になった。
三校*とも違う視点で大変参考になった。
全くねらっているものがちがう 3 つの学校の実践の中で、何を目ざして、生徒の資質・能力を伸ばしていくことをかければいいのか、あきらかにしてほしかった。

2. 最も印象に残った実践事例、講評等について御記入ください。

カリキュラム・マネジメントの方法、グローバル人材との関連性
あまり考えていない視点（教科横断的→グローバル）だったので、頭上だけのものにならないようになったらすばらしいと思います。
多くの学校の参考になると思いました。
教科の中で伝統文化教育を行なう点
グローバル人材の育成と伝統文化教育をつなげ、理論的・研究がすすめられてる点
教科間の連携（カリキュラムマネジメント
小学校ですでに総合学習の中で教材化されると、中学校で 1 つの題材を決めるにも、小中連携で行うと小学校がカリキュラムをかえざるをえなくなる。そういう点で、中学校の伝統文化教育の新しいあり方を学ぶことができた。
総合学習以外の実践として参考になりました。
他教科間連携について。
教科の中で実践している点
教科のねらいを達成するために伝統文化の視点を取りいれている点
多様性のある生徒が集まる中で、私たちが普段の授業の中でも意識すべきことを示してくれた。
3 校*の視点の違いから大変面白い比較ができよかった。
全教科等で行われている実践

三校*/3 校*：奄美市立大川中学校、花巻市立大迫中学校、金沢大学附属中学校